



志木市

令和4年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(対象：令和3年度教育行政施策)

令和4年8月

志木市教育委員会

I	はじめに.....	1
1	趣旨.....	1
2	点検・評価の対象及び方法.....	1
3	評価結果の報告及び取扱い.....	2
4	点検及び評価に関する学識経験者.....	2
5	施策の体系.....	3
II	施策の内容及び評価.....	4
1	【点検及び評価対象事業一覧】	4
2	事務点検評価書(令和3年度事業).....	6
3	志木市教育委員会事務点検及び評価について.....	31
	※資料.....	37

I はじめに

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の第26条第1項では、毎年、その権限に属する事務の管理・執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表する責務が教育委員会に課されており、同法の規定に基づき、「教育委員会の事務に関する点検・評価」を実施し、報告書を作成いたしました。

平成26年度までは、志木市行政評価制度の評価結果報告書により、議会への報告と市民への公表を行ってきましたが、平成27年3月の当該制度の廃止に伴い、平成27年度から志木市教育委員会として、市民への説明責任を果たすため、また、効果的な教育行政の推進に資するため、独自に点検及び評価を行っております。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象及び方法

点検・評価の対象とする事務事業は、令和3年度志木市予算及び事業概要説明にも記載され令和3年度に特に重点的な取り組みを行った、志木市将来ビジョン『第5次志木市総合振興計画前期実現計画 後期実現計画（令和3年度～令和7年度）』に位置づけられた令和3年度の教育行政諸施策を中心に、点検・評価を実施しました。

その中で、令和3年度は23の事業について、所管課が一次評価を行い、その中から7事業を選定し、学識経験者により二次評価をいただきました。

令和3年は、新型コロナウイルス感染症の影響から、未だ、通常には戻れていませんが、延期されていた東京オリンピック開催と同様、昨年度と比較すると、「新しい生活様式」に対応した事業を模索しております。

3 評価結果の報告及び取扱い

教育委員会の事務に関する点検評価報告書を作成し、市議会に提出するとともに市民に公表し、翌年度における施策、事業の改善に役立てるものとします。

4 点検及び評価に関する学識経験者

委員は昨年度に引き続き、以前より本市の行政について、指導・助言をいただくなど、本市と深い関わりを持つ方並びに近隣大学において様々な分野で人材育成に携わるなど、教育について高い識見を有している方をお願いしました。

【教育委員会事務点検評価委員】

- ・ いのうえ みよし 井上 三芳氏（前志木市代表監査委員、元行政評価委員会会長）
- ・ ほしの あつこ 星野 敦子氏（十文字学園女子大学教授）

【教育委員会事務点検評価会議開催状況】

- ・ 7月22日（金） 二次評価対象事業ヒアリング
点検評価報告書（案）について

5 施策の体系

■ 施策の体系 —志木市将来ビジョン(第五次志木市総合振興計画)(抄)—

市民力が生きるまちづくり

子育てしやすいまちづくり

- 子どもの育ちと学びをつなげるための支援

地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり

- 知・徳・体の育成
- 地域社会に開かれた教育の推進
- 安全で安心な学校づくり
- 特別なニーズに対応した教育の推進
- 青少年の健全育成

一人ひとりが輝くまちづくり

- 人権啓発・教育の推進
- 異文化交流の支援

市民を支える快適なまちづくり

豊かな文化を育むまちづくり

- さまざまな学習機会の提供
- 生涯にわたり学ぶことができる環境づくり
- 学びで支えるまちづくり
- 文化を育む活動の支援

スポーツを楽しむまちづくり

- 健康ライフスタイルの支援
- スポーツ・レクリエーション活動の支援
- スポーツ施設の整備・活用

II 施策の内容及び評価

1 【点検及び評価対象事業一覧】

第1章 1-2 地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり

1 知・徳・体の育成

評価書 番号	事業名	事業所管課	2次評価 対象
8	志木小学校教室及び職員室の増設	学校教育課	
9	小・中学校オンライン学習教材の整備	学校教育課	
11	複数・少人数指導体制推進事業～スマート・クラス～の推進	学校教育課	
12	民間事業者との連携による水泳指導の充実	学校教育課	○
13	体力向上授業の推進	学校教育課	○
14	サマースクール・中3チューターの充実	学校教育課	

2 地域社会に開かれた教育の推進

評価書 番号	事業名	事業所管課	2次評価 対象
15	小中一貫教育の推進	学校教育課	○

3 安心で安全な学校づくり

評価書 番号	事業名	事業所管課	2次評価 対象
1	宗岡第二小学校体育館の大規模改修の設計	教育総務課	
2	宗岡小学校・志木第二小学校給食室の空調設備の設計	教育総務課	
3	志木小学校・いろは遊学館等空調設備の設計及び改修	教育総務課	
4	宗岡小学校体育館の大規模改修	教育総務課	
5	宗岡第二小学校給食室の空調設備の設置	教育総務課	
6	志木第三小学校給食室の改修及び空調設備の設置	教育総務課	
7	志木第二中学校給食室の空調設備の設置	教育総務課	

4 特別なニーズに対応した教育の推進

評価書 番号	事業名	事業所管課	2次評価 対象
19	オンライン相談の導入	教育サポートセンター	
20	特別支援教育支援員派遣の充実	教育サポートセンター	○

第1章 1-5 一人ひとりが輝くまちづくり

5 異文化交流の支援

評価書 番号	事業名	事業所管課	2次評価 対象
10	小学校英語教育の充実	学校教育課	

第2章 2-3 豊かな文化を育むまちづくり

1 さまざまな学習機会の提供

評価書 番号	事業名	事業所管課	2次評価 対象
23	第三次志木市子ども読書活動推進計画の推進	柳瀬川図書館	○

2 生涯にわたり学ぶことができる環境づくり

評価書 番号	事業名	事業所管課	2次評価 対象
21	オンライン講座・オンライン視察の導入	いろは遊学館	○
22	予約資料宅配サービスの導入	柳瀬川図書館	

3 学びで支えるまちづくり

評価書 番号	事業名	事業所管課	2次評価 対象
18	放課後志木っ子タイムの拡充	生涯学習課	○

4 文化を育む活動の支援

評価書 番号	事業名	事業所管課	2次評価 対象
16	国重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」関連石造物説明板の設置	生涯学習課	
17	「村山快哉堂まつり」の開催	生涯学習課	

2 事務点検評価書(令和3年度事業)

事務点検評価書

(令和3年度事業)

23事業

特記事項

1 事業の全体期間について

複数の事業等により開始年度が特定できない事業について「－」と示した。

2 事業の対象について

(1) 「市内小学校児童」、「市内中学校生徒」は、令和3年5月1日現在の児童・生徒数に統一した。

・市内小学校児童数：4,127人　・市内中学校生徒数：1,734人

(2) 「全市民」は、令和3年4月1日現在の人口に統一した。

・全市民数：76,601人　世帯数：35,631世帯

3 達成した成果の内容について

指標の達成度に合わせ、次のように示した。

「全て達成」・・・指標の達成度 100%以上

「概ね達成」・・・指標の達成度 51～99%

「半分達成」・・・指標の達成度 50%

「部分達成」・・・指標の達成度 1～49%

「達成せず」・・・指標の達成度 0%

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	宗岡第二小学校体育館の大規模改修の設計		
担当部課	教育総務課	No.	1
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	③安全で安心な学校づくり	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	<p>【内容】 志木市学校施設長寿命化計画に基づき、老朽化している宗岡第二小学校体育館の改修工事に向けた設計業務を行う。</p> <p>【対象者】 宗岡第二小学校の児童、災害時に避難してくる市民、学校開放の利用者(団体)</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度 千円 (千円)	令和3年度 12,000 千円 (7,425 千円)	令和4年度(当初) 千円
現状課題 3年度の改善点	宗岡第二小学校体育館は建築後48年以上経過しており、耐震補強工事は平成9年に実施しているが、老朽化が進行しており、玄関の屋根から雨漏りがしている。毎年度、維持管理を行っているが、志木市学校施設長寿命化計画に基づき大規模改修工事を実施するが、費用対効果を見据えて設計の内容に反映する必要がある。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目標・実績・達成状況)	学校現場と連絡体制及び現場確認を密に行うことで施設整備の必要性、緊急度等を考慮し、学校の要望に即した設計を行うことができた。 設計: 令和3年6月28日～令和4年3月18日		
	<input checked="" type="radio"/> 全て達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	宗岡小学校・志木第二小学校給食室の空調設備の設計		
担当部課	教育総務課	No.	2
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	③安全で安心な学校づくり	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	<p>【内容】 小学校の安全安心な給食の提供と給食調理現場の衛生環境向上のため、宗岡小学校及び志木第二小学校の給食室の空調設備の設置に向けた設計を実施します。</p> <p>【対象者】 宗岡小学校・志木第二小学校の児童及び調理員</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	千円 (千円)	3,415 千円 (2,970 千円)	千円
現状課題 3年度の改善点	空調設備が設置されていない給食室があるため、安全安心な給食の提供と給食調理現場の衛生環境向上のため、令和3年度から令和6年度にかけて空調設備を設置していく計画である。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目標・実績・達成状況)	学校現場と連絡体制及び現場確認を密に行うことで現場の要望に即した設計を行うことができた。 設計: 令和3年7月29日～令和4年2月25日		
	<input checked="" type="radio"/> 全て達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	志木小学校・いろは遊学館等空調設備の設計及び改修		
担当部課	教育総務課	No.	3
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	③安全で安心な学校づくり	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	<p>【内容】 複合施設の良い教育環境を整備するため、生涯学習棟(西系統)の改修工事(第2工区)及び第3・4工区にあたる生涯学習棟(東系統)、南校舎の改修工事に向けた設計を行う。 なお、学校の授業に大きな影響を与えないよう、当該事業は令和2年度から令和5年度の4箇年で計画的に改修を行っていく。</p> <p>【対象者】 志木小学校の児童、いろは遊学館の利用者</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	113,000 千円 (106,191 千円)	119,140 千円 (95,524 千円)	125,400 千円
現状課題 3年度の改善点	開校から19年が経過し、法定耐用年数である15年を経過した空調設備の性能が著しく低下しているため、計画的に機器の更新をする必要がある。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	生涯学習棟(西系統)の空調設備の改修工事及び体育館の照明をLEDに交換した。また、生涯学習棟(東系統)、南校舎の設計を実施した。 工事: 令和3年8月12日～令和4年3月11日 監理: 令和3年9月24日～令和4年3月18日 設計: 令和3年8月10日～令和4年2月25日		
	<input checked="" type="radio"/> 全て達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	宗岡小学校体育館の大規模改修		
担当部課	教育総務課	No.	4
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	③安全で安心な学校づくり	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	<p>【内容】 小学校の良好な教育環境を整備するため、宗岡小学校の体育館の大規模改修工事を実施します。</p> <p>【対象者】 宗岡小学校の児童、災害時に避難してくる市民、学校開放の利用者(団体)</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	千円 (千円)	258,250 千円 (198,858 千円)	千円
現状課題 3年度の改善点	宗岡小学校体育館は建築後50年以上経過しており、アリーナでボールが弾まないなど老朽化が進行していた。 また、災害時に防災便槽まで車椅子等で行けないなどバリアフリーの観点からも課題があった。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	学校現場と連絡体制及び現場確認を密に行うことで安全に工程どおり工事を行うことができた。 工事: 令和3年7月7日～令和4年2月25日 監理: 令和3年7月8日～令和4年3月18日		
	<input checked="" type="radio"/> 全て達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	宗岡第二小学校給食室の空調設備の設置		
担当部課	教育総務課	No.	5
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	③安全で安心な学校づくり	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	<p>【内容】 小学校の安全安心な給食の提供と給食調理現場の衛生環境向上のため、宗岡第二小学校の給食室の空調設備設置工事を実施します。</p> <p>【対象者】 志木第二小学校の児童及び調理員</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度 千円 (千円)	令和3年度 18,700 千円 (11,880 千円)	令和4年度(当初) 千円
現状課題 3年度の改善点	空調設備が設置されていない給食室があるため、安全安心な給食の提供と給食調理現場の衛生環境向上のため、令和3年度から令和6年度にかけ、順次各学校に空調設備を設置していく計画である。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目標・実績・達成状況)	学校現場と連絡体制及び現場確認を密に行うことで夏休み期間中に安全に工程どおり工事を行うことができた。 工事: 令和3年6月9日～令和3年9月30日		
	<input checked="" type="radio"/> 全て達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	志木第三小学校給食室の改修及び空調設備の設置		
担当部課	教育総務課	No.	6
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	③安全で安心な学校づくり	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	<p>【内容】 小学校の安全安心な給食の提供と給食調理現場の衛生環境向上のため、志木第三小学校の給食室の内外装改修及び空調設備設置工事を実施します。</p> <p>【対象者】 志木第三小学校の児童及び調理員</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	千円 (千円)	88,950 千円 (113,377 千円)	千円
現状課題 3年度の改善点	志木第三小学校の給食室は建築後50年以上経過しており、老朽化が進行していた。また、空調設備が設置されていない給食室であったため、安全安心な給食の提供と給食調理現場の衛生環境向上のため、空調設備を設置していく必要がある。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	学校現場と連絡体制及び現場確認を密に行うことで安全に工事を行うことができた。 工事: 令和3年6月10日～令和4年3月18日 監理: 令和3年6月10日～令和4年3月25日		
	<input checked="" type="radio"/> 全て達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	志木第二中学校給食室の空調設備の設置		
担当部課	教育総務課	No.	7
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	③安全で安心な学校づくり	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	<p>【内容】 中学校の安全安心な給食の提供と給食調理現場の衛生環境向上のため、志木第二中学校の給食室の空調設備設置工事を実施します。</p> <p>【対象者】 志木第二中学校の生徒及び調理員</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度 千円 (千円)	令和3年度 17,400 千円 (13,398 千円)	令和4年度(当初) 千円
現状課題 3年度の改善点	空調設備が設置されていない給食室があるため、安全安心な給食の提供と給食調理現場の衛生環境向上のため、令和3年度から令和6年度にかけ、順次各学校に空調設備を設置していく計画である。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目標・実績・達成状況)	学校現場と連絡体制及び現場確認を密に行うことで休み期間中に安全に工程どおり工事を行うことができた。 工事: 令和3年6月9日～令和3年9月30日		
	<input checked="" type="radio"/> 全て達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	志木小学校教室及び職員室の増設		
担当部課	学校教育課	No.	8
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	①知・徳・体の育成	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	児童数の増加に対応した持続可能な学校運営のため、教室を増設し、オープンスクール方式の特性を生かした学びの機会を提供する。また、教職員の増加に合わせ、フリーアドレス化を図ることにより、教職員間のコミュニケーションを促進させ、授業の質の向上につなげる。		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	千円 (千円)	24,710 千円 (19,779 千円)	千円
現状課題 3年度の改善点	円滑な学校運営を図るため、今後も教職員と打ち合わせを行う。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	教室の増設、職員室のフリーアドレス化による教職員間のコミュニケーションの促進。		
	<input checked="" type="radio"/> 全て達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	小・中学校オンライン学習教材の整備		
担当部課	学校教育課	No.	9
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	①知・徳・体の育成	
	根拠法令	学校教育法施行令	
事業の内容・対象者	GIGAスクール構想に基づきた市内小・中学校の全児童生徒及び教員に貸与した1人1台端末(iPad)において、活用できるオンライン学習教材のライセンスを購入するものである。このことにより、児童生徒の実態に応じた学習問題に取り組むことができる。これは、個別最適化された学び及び指導の実現させるものである、また、一層の基礎学力の定着をはじめ、学力向上を期待できるものである。		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	0千円 (0千円)	9,240千円 (8,365千円)	11,220千円
現状課題 3年度の改善点	<p>令和3年度の導入、使用を開始している。各児童生徒のアカウント作成や管理を委託業者と連携して行い、該当サービスを使用している。積極的な活用を目的に、メーカー側が講師となつての教員向けの研修会やGIGAスクールサポーターによる教室での導入・活用支援を行った。児童生徒は教員の指示のもと、決められた問題を解くことや自主的に取り組むこと、さらには持ち帰り時においても活用することができた。</p> <p>課題としては、導入初年度のため、従来の紙のドリルや自作教材、宿題等との使い分けや約6000名の登録作業、ネットワーク不調時や端末トラブルや操作ミスへの対応に追われた。</p>		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全児童生徒及び教員が登録し、使用することができた。 ・メーカーやGIGAスクールサポーターによる教員向け研修を実施したことにより、活用が進んだ。活用が浸透することで、児童生徒自身が判断して使うことができる学校も出てきた。 		
	<input type="radio"/> 全て達成 <input checked="" type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	小学校英語教育の充実		
担当部課	学校教育課	No.	10
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	⑤一人ひとりが輝くまちづくり	
	具体的施策	⑤異文化交流の支援	
根拠法令	学校教育法第33条、小学校学習指導要領		
事業の内容・対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3～6年生を対象に、外国語科及び外国語活動の授業を通してコミュニケーション能力を高めるために、外国語指導助手(ALT)を派遣する。 ・英語専科教員として、英語でのコミュニケーション能力や英語指導における専門性をもった教員を配置し、質の高い授業の展開や他の教員への模範とする。県費英語専科教員と合わせて4人の教員が2校ずつ担当することで、全小学校への配置を行う。 ・小学校3、4年生を対象した「サマーイングリッシュ」を実施する。 		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	20,171 千円 (18,722 千円)	28,238 千円 (24,677 千円)	29,977 千円
現状課題 3年度の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・4名の外国語指導助手(ALT)が1人2校を担当し、3～6年生の外国語活動の授業において、専科教員や学級担任とともに授業の補助を行っている。 ・小学校8校全校に英語専科教員を配置したことにより、授業の充実が図られている。 ・小学校3、4年生を対象にした「サマーイングリッシュ」を計画し、約100名の応募があったが、コロナ禍により実施することができなかった。 		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	<ul style="list-style-type: none"> ・全校で英語専科教員による授業を実施することで、児童の興味を引き出し、コミュニケーション能力を高める授業が行うことができた。 ・英語専科教員が中心となって外国語科及び外国語活動の授業を計画することで、ALT活用の効果をさらに大きくすることができた。 		
	<input type="radio"/> 全て達成 <input checked="" type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	複数・少人数指導体制推進事業～スマート・クラス～の推進		
担当部課	学校教育課	No.	11
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	①知・徳・体の育成	
	根拠法令	学習指導要領	
事業の内容・対象者	<p>・子供たちに未来を切り拓くための資質・能力を身に付けさせるために、全小学校で「主体的、対話的で深い学び」を積極的に取り入れることのできる指導体制を整える。小学校1、2年生に市費教員(スマート教員)を配置する。3、4年生に配置するスマート教員は、学習面のつまづきを未然に防ぐことができるよう、民間の教育事業者から派遣された教員とする。</p> <p>・対象者は、市内全小学校第1～4学年児童2719人である。(児童数は、令和3年5月1日現在)</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	102,200 千円 (91,721 千円)	101,442 千円 (千円)	96,444 千円
現状課題 3年度の改善点	<p>(現状) 小学校1、2年生においては落ち着いた学習環境づくり、3、4年生においては個に応じた指導の充実による基礎・基本となる学力の定着が図られている。</p> <p>(課題) スマート教員を活用した効果的な学習形態及び民間の教育事業者のノウハウの生かし方について、引き続き研究が必要である。</p> <p>(改善点) 各小学校がPDCAサイクルを確立し、具体的な活用の効果検証を行い、事業の中間報告書を冊子としてまとめた。</p>		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	<p>志木市学力・学習状況調査の結果から、小学校低、中学年の児童に基礎・基本となる学力を定着させることができた。 (小1～3年生の児童が受けた志木市学力・学習状況調査で、全国比100以上となった教科数が、6教科中5教科以上であることを具体的な数値目標と設定。)</p>		
	<input checked="" type="radio"/> 全て達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	民間事業者との連携による水泳指導の充実		
担当部課	学校教育課	No.	12
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	①知・徳・体の育成	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	児童・生徒の泳力向上を図るため、民間事業者と連携した水泳指導を実施する。令和3年度は、令和2年度に実施した志木第四小学校に加え、プールの老朽化が著しい宗岡小学校及び宗岡第二小学校を新たに加えた3校において、民間のプール施設を活用し、泳力向上につながる水泳指導を実施する。		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	4,300 千円 (4,301 千円)	15,000 千円 (12,676 千円)	42,000 千円
現状課題 3年度の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・実施校が3校へ拡充されたが、日程調整についても計画的に進めることができた。 ・教員が行う評価について、さらに研修する必要がある。 		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	<ul style="list-style-type: none"> ・天候等に左右されることなく、また、コロナ禍においても感染防止対策を講じながら、概ね計画通り授業を行うことができた。 ・専門性の高い指導により、児童が意欲的に授業に取り組むとともに、着実な泳力の向上が見られた。 		
	<input type="radio"/> 全て達成 <input checked="" type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		
二次(外部) 評価 (星野委員)	令和2年度より実施されていた志木第四小学校に加え、宗岡小学校及び宗岡第二小学校において、民間事業者との連携による水泳指導を実施している。水泳指導における民間事業者との連携は、猛暑の影響、プールの老朽化、維持管理問題、ならびに教師の指導力のばらつきなどにより、全国的に注目されているテーマである。これに対し、いち早く取り組み、令和4年度には市内のすべての小学校において実施見込みとのことで、迅速で的確な対応は大いに評価したい。専門性の高い指導により、泳力の向上だけでなく、児童の意欲向上においても成果が表れている。今後は成果のきめ細やかな分析、ならびに適切な評価基準の策定を図ることで、より効果的な運用を期待したい。		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	体力向上授業の推進		
担当部課	学校教育課	No.	13
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	①知・徳・体の育成	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	民間事業者と連携した、より専門的な体育授業を、これまでの市内全小学校の1年生に加え、新たに重点校1校において中学年を対象に事業展開し、児童のさらなる体力向上につなげる。		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	2,000 千円 (1,907 千円)	2,650 千円 (2,320 千円)	3,850 千円
現状課題 3年度の改善点	・民間の教育事業者のノウハウの生かし方や、教員との連携方法について、引き続き研究が必要である。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い指導により、児童の体を動かす意欲が高まった。また、重点校においては、跳び箱運動において、運動技能の向上が見られた。 ・民間事業者の指導技術を教員自身も学ぶことができ、普段の授業に生かすことができた。 		
	○全て達成 ●概ね達成 ○半分達成 ○部分達成 ○達成せず		
二次(外部) 評価 (井上委員)	<p>民間事業者の専門性の高い指導により、児童の体を動かす意欲の高まりや重点校においては、運動技能の向上が見られたことなど、民間事業者のノウハウを活用した、体力向上へ向けたより専門的な体育授業の事業展開を評価する。</p> <p>また、民間事業者の指導技術を教員自身も学ぶことができ、普段の授業に生かすことができたことを評価する。</p> <p>今後は、民間の教育事業者のノウハウの生かし方や、教員との連携方法について、より深めていくことを期待する。</p>		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	サマースクール・中3チューターの充実		
担当部課	学校教育課	No.	14
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	①知・徳・体の育成	
	根拠法令	学習指導要領	
事業の内容・対象者	<p>中学1年生から3年生の希望する生徒を対象に、夏季休業中の補修事業として「サマースクール2021」を市内中学校全校で実施する。また、チューター支援学習制度として市内の中学3年生を対象とした学習支援を行う。</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	千円 (千円)	17,544 千円 (千円)	17,512 千円
現状課題 3年度の改善点	<p>中学生の基礎学力定着を図るために、希望する生徒に対して、数学、英語を中心にそれぞれで学習支援を行った。中学3年生には、秋以降高等学校入試前まで継続的に学習支援を行うことで、生徒一人ひとりの希望する進路に応じた必要な学力を育み、夢の実現を応援してきた。</p> <p>さらなる学習行意欲の向上や基礎学力の定着を目指し、サマースクールと中3チューター事業を統合しリニューアルさせ、新たな支援員として近隣の学校の高校生や大学生を迎えた「ベーシックサポート事業」を実施する。</p>		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	<p>参加者からは、「勉強するきっかけができた。」「自分のペースで学習に取り組めたので理解度が高まった。」の声が寄せられた。</p> <p>【サマースクールの実施状況】 29コマ開催、延べ119名の参加。</p> <p>【中3チューターの実施状況】 41コマ開催、延べ299名の参加。</p>		
	<input type="radio"/> 全て達成 <input checked="" type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	小中一貫教育の推進		
担当部課	学校教育課	No.	15
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	②地域社会に開かれた教育の推進	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	小学校6年間と中学校3年間の9年間を見通して、一つの目指す子ども像に向かって、一貫した教育課程のもと、教育活動を行っていく。		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	2,102 千円 (1,995 千円)	2,095 千円 (1,953 千円)	29,575 千円
現状課題 3年度の改善点	志木第二中学校区を中心に研究を進めており、志木第二小学校に小中一貫教育推進教師を週20時間配置した。また、中学校教員が小学校の授業に参加する「乗り入れ授業」を行っている。 地域の理解を得ながら、中学校区ごとに特色ある教育課程を編成していく必要がある。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	志木第二小学校に中学校数学の指導経験豊富な小中一貫教育推進教師を週20時間配置することにより、高学年の教科担任制を推進することができた。		
	○全て達成 ●概ね達成 ○半分達成 ○部分達成 ○達成せず		
二次(外部) 評価 (星野委員)	小学校における「小中一貫教育推進教師」の配置による教科担任制の試行、並びに中学校教員による小学校の授業参加が行われた。令和3年度は、義務教育学校または小中一貫校設置を目指す5年計画の初年度にあたり、今後のカリキュラムの柔軟化、より効果的な教育指導の適切化、不登校問題をはじめとする中1ギャップの解消に向けて、着実な1歩を踏み出したことは評価に値する。コミュニティ・スクールについても、中学校区を単位として一体的に運用することによる効果的な事例が多数報告されている。こうした視点も踏まえて、当初の計画に縛られることなく、児童生徒にとって、どのような改革がより適正であるのかを見極めながら、柔軟な対応を望みたい。		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	国重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」関連石造物説明板の設置		
担当部課	生涯学習課	No.	16
将来ビジョン	基本目標	②市民を支える快適なまちづくり	
	基本的施策	③豊かな文化を育むまちづくり	
	具体的施策	④文化を育む活動の支援	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	令和2年3月26日に市指定有形民俗文化財に指定した6基の田子山富士塚関連石造物は、国指定重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」と同時期に作られたものであり、文化財としての田子山富士塚の理解を深めるうえで、大変重要なものであることから、来訪者にもわかりやすい説明板の設置を行った。		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	0千円 (0千円)	165千円 (165千円)	0千円
現状課題 3年度の改善点	市指定文化財「田子山富士塚関連石造物(たごやまふじづかかんれんせきぞうぶつ)」は、①道しるべ(みちしるべ)、②石燈籠(いしどうろう)2基、③鳥居台石(とりいだいし)2基、④御手洗石(みたらしいし)の合わせて6基の石造物である。市指定文化財「田子山富士塚関連石造物(たごやまふじづかかんれんせきぞうぶつ)」は、石に刻まれた、寄進者名や世話人の名前から、「志木の田子山富士塚」との関連が明らかである。富士塚や富士講の理解の上で、大変貴重な文化財であるが、国指定重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」指定区域の範囲外にあることから、来訪者にもわかりやすくするため、令和3年度説明板を設置した。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	設置場所は、敷島神社の許可を得て境内に設置し、1枚の説明板に6基の石造物の説明を記載した。		
	<input checked="" type="radio"/> 全て達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	「村山快哉堂まつり」の開催		
担当部課	生涯学習課	No.	17
将来ビジョン	基本目標	②市民を支える快適なまちづくり	
	基本的施策	③豊かな文化を育むまちづくり	
	具体的施策	④文化を育む活動の支援	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	<p>村山快哉堂において、村山快哉堂その他の文化財に対する市民の理解と関心を深めるとともに、郷土を愛する心を養うことを目指したイベント「まつり」を行うことを目的に開催する。内容は、芸能文化の発表、勾玉づくりなどの体験、昔のあそびなどの子どもたち対象のあそびである。令和3年度は、いろは親水公園の再整備工事の為、開催をすることができなかった。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、令和2年度も開催されていない。</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	72千円 (0千円)	72千円 (0千円)	0千円
現状課題 3年度の改善点	<p>村山快哉堂まつりは、旧村山快哉堂を管理してきた「村山快哉堂管理運営委員会」が実行委員会を組織し、例年、さくらフェスティバルと同日開催で実施してきた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い2年間中止となった。令和3年度は、いろは親水公園再整備工事の為、令和3年10月より休館となり、併せて、「村山快哉堂まつり」も中止となった。開館となる令和4年8月からは、旧村山快哉堂の管理運営をいろは親水公園の管理と併せて、指定管理者が行う為、「村山快哉堂管理運営委員会」も解散し、今後は案内や事業を中心に新しい会を発足し活動する予定である。</p>		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	いろは親水公園再整備に伴う工事の為、中止。		
	<input type="radio"/> 全て達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input checked="" type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	放課後志木っ子タイムの拡充		
担当部課	生涯学習課	No.	18
将来ビジョン	基本目標	②市民を支える快適なまちづくり	
	基本的施策	③豊かな文化を育むまちづくり	
	具体的施策	③学びで支えるまちづくり	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	<p>市内全小学校において、各校のすべての児童を対象に、放課後における安全・安心な子どもたちの活動拠点を目的に、放課後子ども教室と学童保育クラブを一体型とした「放課後志木っ子タイム」を実施している。</p> <p>また、子ども達の学習意欲を高め基礎学力の向上を図る観点から、市内3、4年生の申込者を対象に、放課後における学習支援を目的とした「放課後学習教室」を各委託業者の学習プログラムとして開催した。</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	122,909 千円 (119,718 千円)	116,428 千円 (111,979 千円)	108,816 千円
現状課題 3年度の改善点	<p>「放課後志木っ子タイム」では、学童保育クラブの担当課との連携や、学校の他の教室を借りるために各校との調整や学校の理解と協力が必要である。コロナ禍においては、子どもたちが密の状態にならないようにソーシャルディスタンスを保つなど工夫を凝らし、消毒作業、検温、マスクの着用、児童の手洗い等の感染防止を徹底し実施した。</p> <p>今まで課の直轄で行っていた「放課後の学習教室」は、委託業者の学習プログラムとして事業形態が変わり、学習教材がタブレット端末の導入となった。デジタル化への移行もスムーズに行われ、学習教室の目的である宿題や復習に特化した時間が確保できた。今後も学習内容の充実に向けて検討を重ねていきたい。</p>		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	<p>「放課後子ども教室」については、新型コロナウイルス感染症の影響で制限を設けた受け入れを行いながらも各ご家庭に理解と協力をいただき、事前予約を行ったことから人数の把握もでき、部屋の確保やスタッフの配置等、適切に実施することができた。(R元年度53,375人→R2年度30,092人→R3年度49,498人)</p> <p>「放課後の学習教室」については、新型コロナウイルス感染の影響を受けながらも全校合わせて154回(R元年度186回、R2年度155回の実績)開催することができた。</p> <p>令和3年度の実施に伴うアンケート調査においては、「やればできるというのがわかった」という児童の感想があり、分からない内容をその場で解決出来たことに手応えを感じたり、宿題を終えてからの帰宅が良かったなどの保護者の声もあって、取り組みの成果と考えている。</p>		
	<input type="radio"/> 全て達成 <input checked="" type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		
二次(外部) 評価 (星野委員)	<p>「放課後志木っ子タイム」は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染防止のための環境を確保して実施することができた。令和2年度に激減した受け入れ人数を、令和元年度の9割以上の水準に戻すことができたことは、運営スタッフ等の努力によるものである。「放課後学習教室」については、委託業者の学習プログラムが導入され、タブレット端末による教材の活用により、教育効果も向上している。学校現場のデジタル化をうけた迅速な対応は評価に値する。放課後子ども教室と学童保育クラブを一体化し、デジタル化に対応した学習支援も併せて成果をあげていることは、全国的に見ても注目に値する事例である。</p>		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	オンライン相談の導入		
担当部課	教育サポートセンター	No.	19
将来ビジョン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	④特別なニーズに対応した教育の推進	
	根拠法令		
事業の内容・対象者	<p>内容: 不登校やいじめなどの様々な問題に対して、個々に寄り添った相談及びサポートができるよう、オンライン相談を導入し、教育相談を充実させる。</p> <p>対象者: 教育相談を必要とする、児童生徒・保護者等</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度 0 千円 (0 千円)	令和3年度 1,133 千円 (989 千円)	令和4年度(当初) 150 千円
現状課題 3年度の改善点	これまでオンラインによる相談(面談)を行う環境がなかったので、市役所の基幹系・情報系とは別のインターネット環境を整備し、機器の導入を行った。また、GIGAスクール構想で一人一台の端末が児童生徒に貸与されていたが、適応指導教室(ステップルーム)に通っている児童生徒はそれまでタブレット端末を使うことができなかった。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	コロナ禍による世界的な半導体不足から、指名競争入札が2回不調となった。2回目は納期を年度末まで伸ばしたことで、1社が入札したので随意契約を結ぶことができた。そのため、3月上旬になってインターネット環境を整え、タブレット端末を3台導入することができた。年度内にリモート相談を実施することはできなかったが、適応指導教室(ステップ)に来ている小学生2名が学校のタブレット端末を使って 구글クラスルームにアクセスし、自習することができた。		
	<input type="radio"/> 全て達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 半分達成 <input checked="" type="radio"/> 部分達成 <input type="radio"/> 達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	特別支援教育支援員派遣の充実		
担当部課	教育サポートセンター	No.	20
将来(ES)コン	基本目標	①市民力が生きるまちづくり	
	基本的施策	②地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり	
	具体的施策	④特別なニーズに対応した教育の推進	
根拠法令	教育振興基本計画、第2期生きる力と絆の埼玉県教育プラン		
事業の内容・対象者	<p>事業の内容: 市立小中学校の特別支援学級や通常学級に在籍する発達障がいがある、あるいは発達障がいがあるのではないかと疑われ、また、生まれ持った特性から特別な支援が必要な子どもたちに、一人ひとりの実態に応じた支援を行うため、特別支援教育支援員を派遣する。</p> <p>事業の対象者: 特別な支援を必要としている児童生徒</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	51,368 千円 (48,748 千円)	56,116 千円 (51,693 千円)	59,177 千円
現状課題 3年度の改善点	<p>現状: 通常学級には、発達障がいや発達特性により、集団生活や勉強に困り感を持つ児童生徒が6.5%~10%在籍している。また、特別支援学級には、担任一人では指導が難しい児童生徒が在籍している。そこで、年度当初に各学校の気になる児童・生徒について担任が「志木っ子サポートシート」に記入して、教育サポートセンターへ提出している。その中には特別な配慮が必要な児童・生徒が含まれており、特別支援教育支援員を派遣して、楽しく安全な学校生活が送れるようサポートしている。</p> <p>課題: 担任一人では十分な指導が難しい児童生徒は年々増加しており、一人ひとりの教育的ニーズに対応する特別支援教育支援員の数と共に質の向上が課題である。</p> <p>改善点: 令和2年度から作成した配置基準表に基づき、令和3年度の特別支援教育支援員の必要数を予算要求できるようになった。また、コロナ禍ではあったが、特別支援教育支援員の悩みについて、スーパーバイザーからアドバイスをいただき、支援方法の向上について紙面による情報共有ができた。</p>		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	<p>児童生徒数と学級数から求める「基準表」による予算要求を行ったため、特別支援教育支援員を派遣する予算(44人分⇒45人分)増額することができた。また、年度当初から各学校に予定した人数(57人:実人数)を配置することができたので、学校長を中心に校内配置をどのようにするか、授業が始まる前に決めることができ、支援の開始をスムーズに行うことができた。</p>		
	<p>● 全て達成 ○ 概ね達成 ○ 半分達成 ○ 部分達成 ○ 達成せず</p>		
二次(外部) 評価 (星野委員)	<p>通常学級において、発達障がいや発達特性により支援を必要としている児童生徒が増加していることから、特別支援教育支援員の派遣を行っている。支援員は特別な資格などは求められておらず、子どもに寄り添える人という基準で選ばれており、保育士や教員などの経験者も多い。令和3年度は、支援員派遣予算の増額や、年度当初から予定人数の各学校への配置を可能とすることで、スムーズな校内配置に結び付くなど、着実な前進がみられる。</p> <p>資格よりも現場対応を重視した採用を行い、必要な人材確保につなげていること、「志木っ子サポートシート」の活用、また新型コロナウイルスの影響下であっても、スーパーバイザーによる情報共有を行うなど、現場重視の対応は的確である。今後さらにニーズが高まると思われるが、リモートの活用も視野にいれ、学校担任、特別支援教育支援員、スーパーバイザー、および行政との間の情報共有を進めることで、より一層の効果的な支援を期待したい。</p>		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	オンライン講座・オンライン視察の導入		
担当部課	いろは遊学館	No.	21
将来ビジョン	基本目標	②市民を支える快適なまちづくり	
	基本的施策	③豊かな文化を育むまちづくり	
	具体的施策	②生涯にわたり学ぶことができる環境づくり	
根拠法令			
事業の 内容・対象者	【内容】 令和2年度までは、対面型(来館型)で各種事業を行っていたが、コロナ禍において事業の中止が相次ぎ、対面型(来館型)での実施のみでは、事業展開が十分に図られない状況となった。そのため、市民の生涯学習環境の維持・推進を図ることを目的に、新しい生活様式に対応したオンライン型の講座も併用して行えるようにした。 また、視察については、コロナ禍において、視察件数が大幅に減少していることから、いろは遊学館に赴かなくても、オンラインで視察ができるように動画を作成した。		
	【対象者】 市民、自治体、大学 等		
予 算 額 (決 算 額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度(当初)
	0 千円 (0 千円)	2,385 千円 (197 千円)	164 千円
現状 課題 3年度の改善点	【現状】 令和3年度実施した29事業中、9事業については、Zoomや動画を活用したオンライン・オンデマンドによる講座を実施した。 (例:女子力向上委員会、おんどり料理教室、お片付け講座、ヨガ、ピラティス 等) また、オンライン視察に向けて、施設紹介動画の作成を行った。施設紹介動画は、カパルと十文字大学の学生2名がナレーション等で参加している。		
	【課題と改善点】 市事業とともに利用団体にも、オンラインを活用いただくため、インターネット無線LAN環境を整備することとした。国においても、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の対象事業となっていたため、令和3年3月議会において、スマホ講座及びインターネット無線LAN環境整備事業の予算を補正し、令和4年度に事業を実施するため、繰越明許費を設定した。		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	【オンライン・オンデマンド講座】 9事業実施 ※ オンライン・オンデマンド講座率は、おおよそ32%(9事業/29事業)		
	【オンライン視察】 オンライン視察を実施するための施設紹介動画を作成。 ※ 来館での視察件数:令和3年度2件、令和2年度4件、令和元年度10件		
○全て達成 ●概ね達成 ○半分達成 ○部分達成 ○達成せず			
二次(外部) 評 価 (井上委員)	コロナ禍において事業の中止が相次ぎ、対面型(来館型)での実施のみでは、事業展開が十分に図られない状況となったため、新しい生活様式に対応したオンライン講座も併用して行えるようにしたことを評価する。特に、令和3年度実施した29事業中、Zoomや動画を活用したオンライン・オンデマンドによる講座を3割強の9事業を実施したことを評価する。 具体的例として、女子力向上委員会、おんどり料理教室、お片付け講座、ヨガ、ピラティス等種々の幅広いテーマの講座が実施されていることは特筆に値する。 また、オンライン視察では、施設紹介をカパルと十文字大学の学生がナレーション等で参加した動画を作成したことを評価する。 令和4年度でのインターネット無線LAN環境整備事業に期待する。		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	予約資料宅配サービスの導入		
担当部課	柳瀬川図書館	No.	22
将来ビジョン	基本目標	②市民を支える快適なまちづくり	
	基本的施策	③豊かな文化を育むまちづくり	
	具体的施策	②生涯にわたり学ぶことができる環境づくり	
根拠法令	なし		
事業の内容・対象者	<p>コロナ禍においても、安心して図書館をご利用いただくことを目的に、インターネットや電話で予約した図書館の資料を自宅などで受け取りができる宅配サービス(有料)を導入した。</p>		
予算額 (決算額)	令和2年度 0千円 (千円)	令和3年度 30千円 (5千円)	令和4年度(当初) 30千円
現状課題 3年度の改善点	<p>インターネット(HP)での資料予約時に、受渡館「宅配貸出」を選択したケースは多々あったが、資料が用意できた際に、有料であるがサービスを利用するか確認すると、ほぼ全員が有料サービスであることに気づかず選択してしまった、とのことであった。</p> <p>利用案内、HPで有料のサービスである旨広報しているが、サービス内容が浸透するまで時間がかかるため、これまでのように、「宅配貸出」を選択した人へ引き続き利用するか否かの確認を行う必要がある。</p>		
達成した 成果の内容 (具体的な数値目 標・実績・達成状 況)	<p>規程の整備、システムの変更、事務処理手順の周知、必要な消耗品の手配などを行い、サービスを円滑に導入することができた。</p> <p>また、HP、チラシ等で広報の結果、有料のサービスでありながらも1件の利用があった。</p> <p><目標値> 予約件数(柳瀬川図書館) 39,000件 <実績値> 予約件数(柳瀬川図書館) 40,849件 <達成状況> 104.7%</p>		
	●全て達成 ○概ね達成 ○半分達成 ○部分達成 ○達成せず		

事務点検評価書(令和3年度事業) 様式

事業名	第三次志木市子ども読書活動推進計画の推進																							
担当部課	柳瀬川図書館	No.	23																					
将来(ビジョン)	基本目標	②市民を支える快適なまちづくり																						
	基本的施策	③豊かな文化を育むまちづくり																						
	具体的施策	①さまざまな学習機会の提供																						
	根拠法令																							
事業の内容・対象者	<p>「第三次志木市子ども読書活動推進計画」(令和3年度～令和7年度)の5つの基本方針に基づき、「図書館」・「学校」・「地域」の主体別に施策を掲げ取り組むこととしている。</p> <p>柳瀬川図書館では、図書館での取組として掲げた主要な重点施策を中心に、施策に取り組む。</p> <p>また、学校での取り組みの「小・中学生の不読率の改善」について、読書冊数調査を実施し検証をしている。</p>																							
予算額 (決算額)	令和2年度 千円 (千円)	令和3年度 130千円 (160千円)	令和4年度(当初) 70千円																					
現状課題 3年度の改善点	<p>「第三次志木市子ども読書活動推進計画」の図書館が取り組む主要な重点施策として掲げた施策のうち、次の3つの取組を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読書通帳の作成・配布の実施」 ・「ITCを活用した電子書籍や電子図書館の導入」 ・「新しい生活様式を取り入れた事業展開」 <p>その他の取組についても進め、子どもが本に親しむための読書環境の整備や読書に親しむ機会の提供と充実を図っていく。</p>																							
達成した成果の内容 (具体的な数値目標・実績・達成状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書通帳の作成・配布の実施」 形態等工夫をし作成後、10月12日に市内小中学校の児童生徒に配布した。 ・「ITCを活用した電子書籍や電子図書館の導入」 導入関連の情報収集を行い、今後に向け検討材料とした。 ・「新しい生活様式を取り入れた事業展開」 感染対策を行った上で、①科学あそび教室②手づくり絵本講座③学校図書館関係職員全体研修会を実施した。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"><目標値:R7年度></td> <td style="width: 10%;">不読率</td> <td style="width: 15%;">小学校 2.00%</td> <td style="width: 15%;">中学校 5.00%</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td><実績値></td> <td>不読率</td> <td>小学校 3.35%</td> <td>中学校 10.66%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><達成状況></td> <td></td> <td>小学校 59.7%</td> <td>中学校 46.9%</td> <td>総合</td> <td>53.3%</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">○全て達成 ●概ね達成 ○半分達成 ○部分達成 ○達成せず</p>			<目標値:R7年度>	不読率	小学校 2.00%	中学校 5.00%				<実績値>	不読率	小学校 3.35%	中学校 10.66%				<達成状況>		小学校 59.7%	中学校 46.9%	総合	53.3%	
<目標値:R7年度>	不読率	小学校 2.00%	中学校 5.00%																					
<実績値>	不読率	小学校 3.35%	中学校 10.66%																					
<達成状況>		小学校 59.7%	中学校 46.9%	総合	53.3%																			
二次(外部)評価 (井上委員)	<p>読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造性を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に着けていく上で欠くことにはできないものと言われている。現状では、テレビ、ビデオ、インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及や子供の生活環境の変化、さらには、幼児期からの読書週間の未形成などにより、子どもの「読書離れ」が指摘されている。</p> <p>このような中、図書館が取り組む主要な重点施策として3つの取組、「読書通帳の作成・配布の実施」、「ICTを活用した電子書籍や電子図書館の導入」、「新しい生活様式を取り入れた事業展開」を進めたことを評価する。</p> <p>第三次子ども読書活動推進計画の5つの基本方針に基づく、「図書館」・「学校」・「地域」の主体的取り組みによる不読率の目標達成に期待する。</p>																							

3 志木市教育委員会事務点検及び評価について

※ 委員からの評価 井上委員

志木市教育委員会事務点検及び評価について

井上 三芳（前代表監査委員）
（元行政評価委員会会長）

I 全体について

志木市教育委員会の施策は、平成28年度から志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画）の施策体系各論5つの基本目標のうち、「1.市民力が生きるまちづくり、2.市民を支える快適なまちづくり」に基づき展開されており、令和3年度は後期実現計画の最初の年度となった。

施策展開の結果により、今年度も安全で安心な学校づくりやまちづくり、生涯学習面での種々の取り組みなど、市民の大きな期待と理解に相応しい教育の充実へ向けた努力を果たしていることを確認することができた。そして、教育行政の改革に対応しつつ、人口76.4~5千人で推移する落ち着いた中、健康な高齢者の増加等志木市の人口状況を踏まえた人材育成、加えて、学校、保護者及び地域住民との連携強化等、教育行政施策の展開への努力を引き続き評価したい。

また、継続して新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため適切な対応を講じていることが伺え、このことをも評価したい。

施策ごとの事務点検及び評価の状況についてはⅡに示すこととする。

また、教育委員会の独立した事務点検及び評価は8年度目に当たるが、今回の事務点検及び評価を通じた全体的な課題など次年度以降への意見等をⅢに示すこととする。

II 施策ごとの事務点検・評価について

1. 「市民力が生きるまちづくり」について

事務点検及び評価の対象事業となったのは、基本的施策2「地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり」16事業、基本的施策5「一人ひとりが輝くまちづくり」1事業、計17事業で事務点検及び評価の全対象23事業の74%を占め、多様な施策展開が図られている。

施策体系毎の事務点検及び評価の主な結果を以下に示す。

1) 基本的施策2「地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり」

(1) 知・徳・体の育成

この施策では、6事業が実施され、「全て達成」が2事業、「概ね達成」が4事業となっている。

「志木小学校教室及び職員室の増設」（「全て達成」）は、今後増加が予想される児童数を想定し、オープンスクール方式の特性を生かした学びの機会の提供を目的とした教室の増設、職員室のフリーアドレス化による教職員間のコミュニケーションの促進にさらに期待する。

「小・中学校オンライン学習教材の整備」（「概ね達成」）は、GIGAスクール構想に基づき全児童生徒及び教員に貸与した1人1台端末（iPad）において、活用できるオンライン学習教材のライセンスを購入、登録して使用を開始し、児童生徒は教員の指示のもと、決められた問題を解くことや自主的に取り組むこと、さらには持ち帰り時においても活用することができたことを評価する。

導入初年度のため、従来の紙のドリルや自作教材、宿題等との使い分けや約6,000名の登録作業、ネットワーク不調や端末トラブルや操作ミスへの対応に追われた課題を、糧として更

なる活用の浸透に期待する。

「体力向上授業の推進」（「概ね達成」）は、2次評価でも記したが、民間事業者の専門性の高い指導により、児童の体を動かす意欲の高まりや重点校においては、運動技能の向上が見られたことなど、民間事業者のノウハウを活用した、体力向上へ向けたより専門的な体育授業の事業展開を評価する。

また、民間事業者の指導技術を教員自身も学ぶことができ、普段の授業に生かすことができたことを評価する。

今後は、民間の教育事業者のノウハウの生かし方や、教員との連携方法について、より深めていくことを期待する。

(2) 地域社会に開かれた教育の推進

小中一貫教育の推進は、志木第二中学校区を中心に研究が進められた事業（「概ね達成」）で、今後は、地域の理解を得ながら、中学校区ごとに特色ある教育課程が編成されることに期待する。

(3) 安全で安心な学校づくり

この施策では、体育館の大規模改修の設計（1事業）及び工事（1事業）、空調設備の設計及び改修（2事業）、給食室の改修及び空調設備の設置（3事業）、計7事業が実施され「全て達成」となっており、適時適切な事業が行われている。

(4) 特別なニーズに対応した教育の推進

この施策では、「オンライン相談の導入」と「特別支援教育支援員派遣の充実」の2事業が実施され、「特別支援教育支援員派遣の充実」は「全て達成」であるが、「オンライン相談の導入」は「部分達成」となっている。

「オンライン相談の導入」の「部分達成は」、コロナ過による世界的な半導体不足、指名競争入札の2回不調等により、オンラインによる相談（面談）を行う環境が3月上旬に整ったため、年度内にリモート相談を実施することができなかったことによる。令和4年度での展開に期待する。

2) 基本的施策5「一人ひとりが輝くまちづくり」

「異文化交流の支援」の1事業が実施（「概ね達成」）された。

この事業で小学校全8校に英語専科教員を配置し、児童の興味を引き出し、コミュニケーション能力を高める授業が行われたことを評価する。

2. 「市民を支える快適なまちづくり」について

事務点検及び評価の対象事業となったのは、基本的施策3「豊かな文化を育むまちづくり」の6事業で、事務点検及び評価の全対象23事業の26%で、多彩な施策展開が図られている。施策体系毎の事務点検及び評価の主な結果を以下に示す。

(1) さまざまな学習機会の提供

この施策では、「第三次志木市子ども読書活動推進計画の推進」の1事業が実施され、「概ね達成」となっている。

この事業は、2次評価でも記したが、読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造性を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことにできないものと言われている。現状では、テレビ、ビデオ、インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及や子供の生活環境の変化、さらには、幼児期からの読書週間の未形成などにより、子どもの「読書離れ」が指摘されている。

このような中、図書館が取り組む主要な重点施策として3つの取組、「読書通帳の作成・配布の実施」、「ICTを活用した電子書籍や電子図書館の導入」、「新しい生活様式を取り入れた事業展開」を進めたことを評価する。

第三次子ども読書活動推進計画の5つの基本方針に基づく、「図書館」・「学校」・「地域」の主体的取り組みによる不読率の目標達成に期待する。

(2) 生涯にわたり学ぶことができる環境づくり

この施策では、「オンライン講座・オンライン視察の導入」と「予約資料宅配サービスの導入」の2事業が実施され、前者は「概ね達成」、後者は「全て達成」となっている。

「オンライン講座・オンライン視察の導入」は、2次評価でも記したが、コロナ禍において事業の中止が相次ぎ、対面型（来館型）での実施のみでは、事業展開が十分に図られない状況となったため、新しい生活様式に対応したオンライン講座も併用して行えるようにしたことを評価する。特に、令和3年度実施した29事業中、Zoomや動画を活用したオンライン・オンデマンドによる口座を3割強の9事業を実施したことを評価する。

具体的例として、女子力向上委員会、おんどり料理教室、お片付け講座、ヨガ、ピラティス等が種々の幅広いテーマ講座が実施されていることは特筆に値する。

また、オンライン視察では、施設紹介をカパルと十文字大学の学生がナレーション等で参加した動画を作成したことを評価する。

令和4年度でのインターネット無線LAN環境整備事業に期待する。

(3) 学びで支えるまちづくり

この施策では、「放課後志木っ子タイムの拡充」の1事業が実施され、「概ね達成」となっている。

事業の実施の伴うアンケート調査において、「やればできるというのがわかったという児童の感想」や、「わからない内容をその場で解決出来たことに手応えを感じたり、宿題を終えてからの帰宅が良かったなどの保護者の声」もあったことなど、事業の取組の成果が出ていることを評価する。

(4) 文化を育む活動の支援

この施策では、「国重要有形民俗文化財『志木の田子山富士塚』関連石造物説明板の設置」、「村山快哉堂まつり」の2事業が実施され、前者は設置が実現し「全て達成」、後者は、いろは親水公園再整備に伴う工事の為中止となり「達成せず」となっている。

Ⅲ 今回の事務点検及び評価を通じた課題について

1. 「事務点検評価書」の正確・適切な作成について

「事務点検評価書」は、教育委員会で推進している政策の具体的な事業の内容を、市民に分かりやすい形で示すために様式を定めたものであり、正確に伝わるのが最も基本となる。

各事業の実施は着実に行われており、今年度も、正確・適切な作成が行われていることが確認でき、改善されていることを評価する。

2. その他について

事業の推進にあたっては、事業の必要性、主体、方法、サービス内容等について、その妥当性を常にチェックして行く姿勢が必要であり、場合によっては事業ごとの市民満足度調査等の実施も必要と考える。

今年度は「放課後志木っ子タイムの拡充」で実施に伴うアンケート調査を行い、児童及び保護者の事業に対する声を把握したことを特筆評価したい。今後も、他の事業においても「達成した成果の内容」の評価の妥当性についてのチェックをしていく必要がある。

以下に、事業の考え方あるいは事業の見直し等について考慮すべき事項を挙げる。政策としての新しい事業の立上げ、個々の事業の見直し等の参考とすることを望む。

- ・「補助金支給が常態化しており、事業内容、役割等を見直すべき事業ではないか」の検討
- ・「地域団体、NPO 法人、市民団体等を主体にすべき事業ではないか」の検討
- ・「業務委託事業、指定管理事業が当然と考えて、教育充実のための質の向上、市民サービスの向上、効率性等についての検討が疎かになっている事業ではないか」の検討

※ 委員からの評価 星野委員

令和4年度 志木市教育委員会事務点検及び評価について

星野敦子（十文字学園女子大学）

I. 「市民力が生きるまちづくり」に関する事業について

志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画）における「市民力が生きるまちづくり」に関わるものとして、17事業が評価対象とされた。テーマごとの達成状況については以下の通りである。

（1）地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり

16事業のうち、「すべて達成」が10事業、「概ね達成」が6事業となっている。

宗岡小学校体育館の大規模改修、宗岡第二小学校体育館の大規模改修の設計、志木小学校・いろは遊学館等空調設備の設計及び改修、志木第二中学校給食室の空調設備の設置など、「安心して安全な学校づくり」は計画通り、適切に進められており、子どもたちを取りまく教育環境は向上している。また工事の際に授業に大きな影響を与えないための工夫をしながら進めている。

志木小学校においては、今後児童数が増加し、令和3年度から7年度にかけて5クラスの増加が見込まれることから、の増加に対応したオープンスクール方式の教室を増設し、教職員間のコミュニケーションを促進するためにフリーアドレス化が図られた。志木小学校においては人数増に対応した措置となっているが、机やいすの変更を伴うオープンスクール方式の導入は、学びの形を変えるきっかけとなるもので、今後そのような観点も含めて市内全校で対応を検討してほしい。

「小・中学校オンライン学習教材の整備」事業については、令和3年度からの導入とい

うことで、従来の紙のドリル、教材等との使い分けや端末トラブルなどの課題も見られたとのことだが、市内全児童生徒及び教員の登録が完了し、すでに活用されていることから、初年度としては十分な成果である。すでに児童生徒自身が判断して活用している学校もあるということで、今後のさらなる活用、学習成果に期待したい。

志木教育の大きな特徴である「スマート・クラス」については、特に3，4年生のスマート教員を民間教育事業者からの派遣としていることで、学習におけるつまづきを早期に発見し、学力の定着につながっていると考えられる。

(2) 一人ひとりが輝くまちづくり

「小学校英語教育の充実」1事業が実施され、「概ね達成」とされた。令和2年度には、小学校8校中4校に英語専科教員を配置していたが、令和3年度は4人の教員が2校ずつ担当することで、全小学校への配置が実現したことで、すべての学校において授業改善が図られた。新型コロナウイルスの影響により「サマーイングリッシュ」が中止となったが、小「学校英語教育の充実」については十分な成果が見られる。

II. 「市民を支える快適なまちづくり」に関する事業について

「市民を支える快適なまちづくり」に関わるものとして、「豊かな文化を育むまちづくり」に関し6事業が評価対象とされた。このうち、「すべて達成」が2事業、「概ね達成」が3事業、「達成せず」が1事業（「村山快哉堂まつり」の開催：いろは親水公園再整備に伴う工事のため中止）となっている。

国重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」関連石造物（市指定文化財）の説明板が設置されたことは、田子山富士塚に関する理解を深め、より広い情報発信につながるものとして評価できる。

ウィズコロナ時代に対応する事業としていろは遊学館において、「オンライン講座・オンライン視察の導入」が実施された。令和3年度は9事業のみであったが、「ヨガ、ピラティス」のように、家庭で気軽にできることから、オンライン講座向きのももあり、内容に応じて活用できることが明らかとなった。また車いすダンサーの講師による「いのちの授業」のように、学校と連携し、リモートで授業を配信する方法は有効である。令和3年度の実施に基づき、令和4年度にはインターネット無線LAN整備事業を実施できることになったのも大きな進歩である。

III. 全体を通して

未だ新型コロナウイルスの影響が払しょくされない状況において、さまざまな工夫をしながら活発な事業展開が図られている印象が強い。また、必要とされる分野において、民間事業者との連携が迅速に進められており、これらが総体的に成果をあげている。「民間事業者との連携による水泳指導の充実」「民間事業者と連携した体育の授業（市内全小学校の1年生に加え、重点校1校の中学年の追加）」「放課後学習教室における委託業者学習プログラムの導入とデジタル化」、および「スマート教員（3，4年生）における民間教育事業者の活用」など、いずれも高い成果が見られる事業である。このように、時代の流れをみながら、新しい取り組みを行う際には素晴らしいパワーを発揮されており、同時に現場に即した合理性を重視している点は大いに評価したい点である。これらの取り組みの成果データの積み重ねや、きめ細かなフォローアップ研修などが伴うと、さらに大きな成果が期待できる。

また令和3年度は小中一貫教育に向けたスタートを切っていること、志木小学校におけるオープンスクール方式の教室と教職員のフリーアドレスの導入、デジタル化のより一層の推進など、従来の学びの形を大きく変える可能性を示唆する事業も多くみられている。文部科学省は、「学校教育・社会教育を通じた総合的かつ客観的根拠に基づく教育政策を推進するため」に、2018年10月「生涯学習政策局」を「総合教育政策局」として組織改革を行っている。持続可能な社会を生きるための新しい学びのあり方を模索しながら進んでいかざるを得ない時代の中で、志木教育の持ち味であるしなやかで強靱なパワーに期待したい。

※資料

○志木市教育委員会事務点検評価委員設置要綱

平成27年3月3日 制定

(設置)

第1条 志木市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、教育委員会事務点検評価委員（以下「委員」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員の所掌事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 教育委員会が実施する点検評価の検証に関すること。
- (2) 教育委員会の事務事業の改善についての助言等に関すること。
- (3) その他教育委員会が必要と認めるもの

(委員)

第3条 委員は、2人とし、教育に関し学識経験を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から同日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、委員に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年5月15日から施行する。

令和4年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(対象：令和3年度教育行政施策)

編集・発行

志木市教育委員会

〒353-8501

埼玉県志木市中宗岡1丁目1番1号

電話：048-473-1111（代表）

志木市ホームページ：http://www.ctiy.shiki.lg.jp